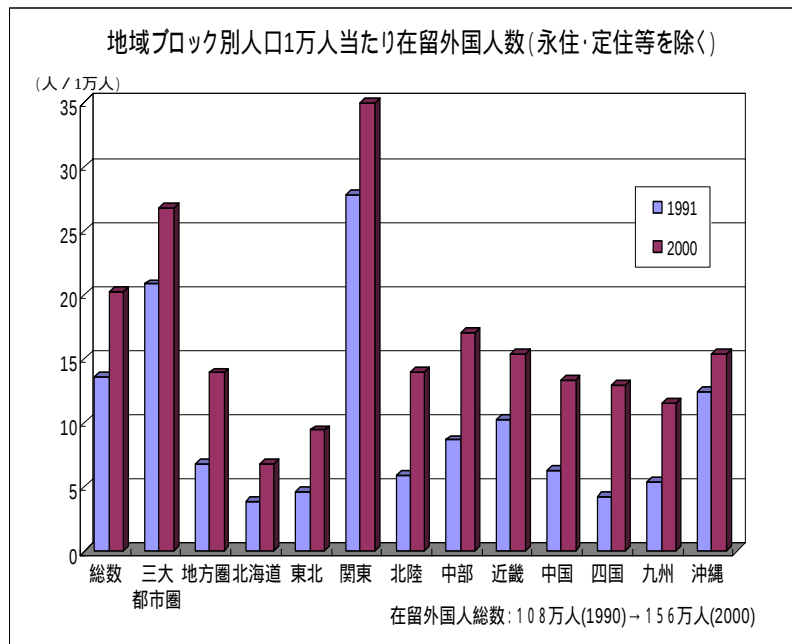


指標：人口当たり在留外国人数

2000年までの10年間をみると、各地域において人口当たり在留外国人数(永住・定住等を除く)が増大している。大都市圏での在留外国人数が地方圏よりも高い傾向にあるが、地方圏での在留外国人も顕著に増大しており、地方圏も含め、各地域で諸活動のグローバル化の進行を示すものと考えられる。



在留外国人数(人/1万人)

	1991年	2000年	伸び率
三大都市圏	20.83	26.82	1.29
地方圏	6.77	13.92	2.06